

教室の窓から 1年1組

先週6日(金)の2時間目の教室を窓から見ていると、1年1組で学級会が行われていました。話し合いの議題は、「いきいき集会をしよう」です。提案理由を要約すると「おもいやりのない言葉が聞かれることがあるので、『いきいき集会』をすることで、みんなで助け合って学級目標の『優しい心で』に近づけると思うから」という内容でした。1年生は「フラフープ渡し」「みんなのれるかな」「モアイゲーム」の3つを原案として示し、その遊びを提案理由と照らして、賛成・反対意見を言いながら、どの遊びが「みんなで助け合う」ことができるか比べ合っていました。「『みんなのれるかな』がいいと思います。わけは、乗るときに『がんばれ!』と言い合えるからです。」「『フラフープ渡し』がいいと思います。わけは、助け合いながら楽しくできるからです。」とたくさんの意見が出ます。そして「『みんなのれるかな』に反対です。それは落ちるのを怖がる人がいるかもしれないからです。」という反対意見が出ると、担任の井上先生から、「どんな工夫をするといいかな?」と問うと、「それなら、怖いと思う人を真ん中にして支え合えばいいと思います。」など改善策も出されました。そして、たくさんの意見を整理し、折り合いを付けながら、合意形成を図っていきます。



そして、「みんな乗れるかな」に決まると、さっそく机椅子を後ろに片付けて、みんなで助け合いながら、遊びを楽しんでいました。帯西では、子供たち自身が話し合っ、みんなで決めたことを実践し、生活創りを行い、それを「4つの心」で振り返って成長の実感を味わっています。1年生から6年生までがこうした積み重ねを行うことによって、学校文化が醸成されています。

学校百景⑳ メッセージを伝える窓 part2

「おびにしもっとわくわく通信132号」では、6年生が5年生の宿泊教室に向けて、「宿泊教室行ってらっしゃい!」という文字が貼られていることをお知らせしました。そのお返しに、5年生が6年生に向けて、教室の中庭側の窓に一つ一つ文字を貼って、6年生にメッセー



ジを伝えています。窓には「修学旅行行ってらっしゃい」と貼られています。6年生は今日9日(月)から10日(火)まで長崎修学旅行に行ってきます。修学旅行は6年間の小学校生活の中でも、思い出に残る行事の一つです。5年生のメッセージによって、最上級生の6年生も、今日から長崎に行く意味を再考し、長崎での学びへの意欲をさらに高めていると思います。高学年同士の無言のやり取りと絆によって、帯西は支えられているのだと、メッセージを伝え合う窓によって実感させられました。